

新基地建設反対名護共同センターニュース

いまもつづく沖縄の屈辱



辺野古ゲート前で4月28日、「4・28県民集會の日を忘れない県民集會」が実行委員会の主催で開かれ、県内外から1500人が結集。2年前にうるま市の20歳の女性が元海兵隊員に殺害された日にも当たり、集會の冒頭で犠牲になった女性に全員で黙とうを捧げました。この日ゲートからの土砂の搬入を許しませんでした。

「民意無視し新たな基地を造る。これ以上の屈辱はない」

実行委員長の高良鉄美琉球大学大学院教授は、サンフランシスコ条約で沖縄が日本から切り離され、66年間も屈辱が続いていると話し、「4・28に屈辱を感じるべき国が、民意を無視し新たな基地を造ろうとしている。これ以上の屈辱はない」と訴えました。日本共産党の赤嶺政賢衆院議員、渡久地修県議、沖縄県統一連・中村司代表幹事、ヘリ基地反対協・仲本興真事務局長などが挨拶しました。

サ条約の屈辱から66年、女性殺害から2年目
ゲート前4・28県民集會に1500人結集



南北朝鮮の和解が 沖縄県民を後押し

4・28集會で赤嶺政賢衆院議員が「南北朝鮮が非核化と平和体制の構築で合意し、県民のたたかいを後押ししている。アベ暴走政治は終わりにしよう」と訴えました。

赤嶺衆院議員迎え 北部地区委員会が演説会

日本共産党沖縄北部地区委員会は4月28日、赤嶺政賢衆院議員を迎え名護市内で演説会を開催しました。赤嶺氏は、森友疑惑や防衛省の日報隠しと辺野古新基地問題など縦横に語り参加者に感動を与えました(写真)。演説会で同地区委員会の上野郁子女性部長と吉居俊平青年部長も訴えました。



抗議船から違法工事に抗議

防衛局は4月28日、ゲート前からの搬入を強行できませんでしたが辺野古の海上ではK3やK4護岸、N3護岸で碎石を投入する工事などを続けていました。ヘリ基地反対協では抗議船2隻、カヌー13艇を繰り出し抗議を続けました。滋賀や京都、千葉、愛知からの仲間が抗議船ウマンチュに乗り込み、「違法工事をやめろ!」「美ら海を壊すな!」とシュプレヒコールを上げ抗議しました。情報によると連休中の護岸工事の作業はカレンダー通りになるとの見通しです。



「米軍機は飛ぶな」うるま市民集會に250人

相次ぐ不時着などに抗議

伊計島での相次ぐ米軍機の不時着やホワイトビーチ沖での米軍パラシュート降下訓練などを受け4月29日、うるま市内で「市上空での米軍機の飛行停止を求める市民集會」が開かれ、250人の市民が集まりました。集會では、米軍機の騒音が激化していることやパラシュート訓練が増加していることを批判。住宅地上空飛行やパラシュート訓練の禁止を要求する決議文を採択しました。実行委員会では、近く防衛局などに提出します。

